

令和5年度 体験活動普及啓発事業
森の子キャンプ

- [主催] 国立曽爾青少年自然の家
- [期 日] 令和5年11月11日(土)～12日(日)
- [対象者] 小学1～3年生
- [参加/募集] 21名/20名程度
- [講師] 向田 恵子氏(一般社団法人三重県森林協会)
- [担当] 小西 岳勝(企画指導専門職付職員)
福島 茂樹(企画指導専門職)
池田 武弘(事業推進係員)



1 趣 旨

- ・ 曽爾の豊かな森林環境を舞台に、子どもの主体的な遊びを通じて自然への興味関心を高め、森のしくみを体験によって学ぶ機会とする。
- ・ 生活体験を通じて小さな成功体験、達成感を積み重ね、基本的な生活習慣を身につけることを目指す。

2 ねらい

- ・ 森の中で諸感覚を使って遊び、自然への興味関心を高める。
- ・ 生活体験を通して自分のことを自分でできるきっかけとする。
- ・ 積極的に外遊びを楽しみ、保護者も体験活動の重要性を理解する。

3 プログラム展開

1日目	10:00	11:00	13:00	17:00	19:00	21:00
	榛原駅集合	はじまりの会 昼食	森の体験① (森の探検)	食事/入浴 (食堂・浴室)	ナイトハイク	就寝
2日目	6:00	7:30	9:00	11:30	13:00	14:15
	起床・散歩	朝食(食堂)	森の体験② (まき割り、たき火等)	森の体験と活動見学 (保護者対象)	おわりの会	榛原駅解散 (現地解散可)

4 活動の様子



5 まとめ(参加者の感想)

(参加者の感想)

- ・ 家であそんでいることよりもしぜんがよかった。
- ・ たき火がいつもできないし、ながい時間できたからよかった。

(保護者の感想)

- ・ なかなか自然の中で遊ぶ機会がないので良い経験になったと思います。これから機会を作って自然の中で過ごすことができたらなと思います。
- ・ 子供たちと同じ様に昼食作りができ、今後にも役立ちそうなお話を聞いて、良かったです。
- ・ いろんな自然体験が有効だと感じていたので、冊子をよく読みたいと思います。
- ・ 「しぜんであそぶ！」まるわかりガイドブックを参考にしながら、自然の中でたくさん遊びたいと思います。